

# 知ってる？ 深江文化村



Through the Taisho and early Showa periods, this was a residential area for Russian refugees who fled the Revolution for 1917, such as the pianist Alezandere Routine, and conductors Josef Laska and Emmanuel Metter. The respect in which they were held attracted a number of their disciples here; their mutual exchanges through music inspired many Japanese musicians, including Takashi Asahina, Ryoichi Hattori, Koichi Kichijiro, etc. This explains the origin of the Fukae Cultural



by the archi-  
William  
e in the  
lawn  
Taisho  
housing  
two houses  
ominaga and

この地に「深江文化村」と呼ばれる一角がありました。芝生を囲む13棟の洋館で、昭和初期、ロシア革命で亡命した指揮者メッテルら、著名な音楽家らが住んでいました。彼らとの交流から、朝比奈隆や今年生誕100年を迎える貴志康一ら、多くの日本の音楽家が育ち、洋画家小磯良平らも出入りしました。

深江文化村はどうして生まれたのでしょうか？そこは当時の日本、そして世界とどのようにつながっていたのでしょうか？

地元で史跡紹介の看板が設置されるのを記念し、地域連携プロジェクトとして深江文化村に注目しておられる甲南大学の井野瀬久美恵先生をお招きして講演会を開きます。地域に秘められた「過去」から、深江の「未来」を見つめなおしてみませんか？

日時 9月6日(日)午後2時～

会場 深江会館2階 (阪神電鉄「深江駅」下車すぐ南)

〒658-0021 神戸市東灘区深江本町3-5-7 078-411-0475

演題 「深江文化村 - 地域再生の可能性を探る」

講師 甲南大学学長補佐・文学部教授 井野瀬久美恵氏

参加費 無料

講演とともに深江文化村がはぐくんだ天逝の音楽家、貴志康一の音楽もお楽しみいただけます。

お問い合わせ：「東灘歴史掘り起こし隊」東灘まちづくり課内  
(代)078-841-4131 (内線 236)



主催 東灘歴史掘り起こし隊  
共催 深江南町1丁目・2丁目・3丁目・4丁目自治会  
後援 東灘区役所 神戸深江生活文化史料館